

2023年8月1日
全日本空輸株式会社
1PointFive

ANA、CO2除去技術 DAC に取り組む 米国企業 1PointFive と契約締結

- ANA は、CO2 除去技術 DAC に取り組む米国企業 1PointFive と航空会社として世界で初めて調達契約を締結しました。
- 1PointFive は、大気中の CO2 を直接回収・貯留する DAC (Direct Air Capture) 技術に取り組んでいます。2025 年より米・テキサス州で稼働開始する予定の DAC プラントからの炭素除去クレジットを ANA は 3 年間で 3 万トン以上調達する予定です。
- 1PointFive とともに DAC 技術の普及および産業の発展に取り組む、ANA グループの中長期環境目標実現に向けたトランジション戦略における脱炭素手段の多様化に取り組めます。



1PointFive の DAC プラント(アメリカ・テキサス州にて 2025 年稼働開始予定)

全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上 慎一、以下「ANA」)は、米国のエネルギー企業オキシデンタル・ペトロリアムの子会社である 1PointFive(本社:米国テキサス州、CEO:Michael Avery)と契約締結しました。DAC(Direct Air Capture、以下「DAC」)技術由来の炭素除去クレジット調達契約を締結するのは航空会社として世界初となります。

ANA グループの 2050 年カーボンニュートラル実現に向けたトランジション戦略¹では、4 つの戦略的アプローチを用いて脱炭素推進に取り組んでいます。1PointFive が手掛けるダイレクト・エア・キャプチャ(DAC)という大気中の CO2 を直接回収・貯留する技術は、トランジション戦略におけるネガティブエミッション技術の一つで、運航上の改善・航空機等の技術革新や SAF の活用等では「削減」しきれない残存排出を「除去」する手段です。航空産業のカーボンニュートラル実現において重要な手段の多様化となる本質的なアプローチです。

現在 1PointFive は、2025 年中に商業運転が開始される予定の DAC プラントをアメリカのテキサス州に建設中です。ANA は、2025 年から 3 年間で合計 3 万トン以上の炭素除去クレジット(CDR)を調達する予定です。1PointFive はカナダのカーボン・エンジニアリング社の DAC 技術を使用しており、大気から直接大量の CO2 を回収・除去することで、脱炭素化が困難な産業における CO2 排出に対応することが可能となります。

ANA は、[日本のエアラインとして初めて日本発の国際線定期便で SAF を使用²](#)する等、航空業界の脱炭素化を実現するための新技術の開拓および手段の多様化に積極的に取り組んでいます。今後も ANA グループのトランジション戦略における手段の多様化を拡大し、2050 年カーボンニュートラル実現を目指してまいります。

【1PointFive について】

1PointFive は、カーボン・エンジニアリング社の DAC (Direct Air Capture) 技術や AIR TO FUELS™ 技術、地中貯留ハブを含む脱炭素ソリューションの展開を通じて 2050 年までに世界の気温上昇を 1.5°C に抑えることを目指しています。詳しくは [1PointFive.com](https://1pointfive.com) をご覧ください。

「AIR TO FUELS™」はカーボン・エンジニアリング社の登録商標です。

以上

1. トランジション戦略について: ANA グループは、2022 年 8 月に 2030、2050 年の環境目標実現に向けて、トランジション戦略を策定しました。運航上の改善・航空機等の技術革新、SAF の活用等航空燃料の低炭素化、排出権取引制度の活用、ネガティブエミッション技術の活用を 4 つのアプローチとして位置づけています。また、国際民間航空機関 (ICAO) 総会における国際航空の CO2 削減に関する目標の見直し等を踏まえ、今年 5 月に一部アップデートしています。

参考: [中期環境目標とトランジション戦略のアップデートについて](#)

2. 燃料の一部に SAF を使用

【報道機関からのお問い合わせ先】

全日本空輸株式会社 広報部 TEL: 03-6735-1111